

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	商工観光課
役職	観光交流係
氏名	岩崎泰依
着任日	平成 30 年 10 月 1 日

活動月	令和 2 年 12 月（着任 2 年 3 ヶ月）
主な活動	1. イベント企画・運営 2. 知覧武家屋敷コットンファーム管理

1. 知覧武家屋敷コットンファームの活動

畑仕舞い

収穫もすべて終了したので来年の種まきに向けて木を全部引き抜き、畑をきれいにして耕しました。春にかけてあと 2・3 回耕して土づくりを行います。2020 年は糸紡ぎのワークショップを行ったり、福祉施設での糸紡ぎ講習を行い、まだ手探りではありますが商品としての作品作りをスタートすることが出来ましたので来年はそれらの材料として和綿がさらに必要になります。今年よりもたくさんの和綿を収穫したいと考えているので、武家屋敷コットンファームでの育て方について工夫をしていきたいのと、いろいろな人に綿を育ててもらい収穫した綿をコットンファームで買い取りをして商品をつくり販売まで出来るようなシステムを作りたいです。

収穫も終わり冬の間は糸紡ぎと機織りをしています。2019 年の春に知覧で和綿の栽培を始めて足掛け 2 年かけてようやく自分の育てた知覧武家屋敷産の和綿からショールを織り上げることが出来ました。華美で誰かに見せるための作品ではなく、常に身近で肌に触れるもので誰も手にしたことが無いもの、お金では買えないものを作ってみたかったです。ここまで作るのにかかる時間や手間を考えるととても効率の良いものではありませんが、布を作るといふひとつの物事の成り立ちや道理、先人の知恵、自分の生活の中の一部が自然と深く関わっている事などが実感できました。なにより自分で何かを一から作る事が出来たという喜びが自信になりました。知覧に移住をして地域おこし協力隊として活動させて頂き、これまでいろ

地域おこし協力隊活動報告書

いろいろな方にご協力を得たおかげでここまで出来、感謝の気持ちでいっぱいです。次はいろいろな方に実際に手に取って使ってもらえるものを作りたいと考えています。



12月の糸紡ぎワークショップ

来年の4月からの本格的な体験の受け入れ事業に向けて準備を行っています。いろいろな方に満足いただける内容にするためにモニターさんに糸紡ぎの体験をして頂いて体験プログラムの内容を組み立てています。畑で棉を収穫（9月中旬～11月）し、収穫した棉を綿繰りし、ハンドスピナーを使って糸に紡ぎ、自分で紡いだ糸を使って組紐のブレスレットを作ります。これまでいろいろな方と糸紡ぎのワークショップをしていく中で人数や年代、それぞれの興味の度合いや進み具合で内容を少しずつ変えて行く予定です。



2、その他の活動

武家屋敷の門松設置

今年も知覧武家屋敷の門松の飾り付けのお手伝いをさせて頂きました。初めて見た時から思う事ですが、特別な装飾が無く、山から採ってきた材料で作られ、武家門の前に佇むその姿は歴史に基づいた威厳があり、通りの景色と調和し圧倒的な格好良さだと思います。

土台にシラスを盛りたて、松・竹・梅・ユズリハを立てます。土台のシラス部分に薪の割れ木を3本ずつ並べます。薪の割れ木は割れた面が刃物のようにとがっていて魔よけの意味があるそうです。お正月は着物を着て武家屋敷を歩いてみたいなと思います。

